



明治14年12月小澤啓次郎画

浴恩園真景 九図 上

三重県の桑名藩の医者の息子として、天保13年（1842年）江戸末期に桑名藩の下屋敷＝築地浴恩園（楽翁・松平定信が作った）で生まれ育つ。明治3（1870）に小澤は桑名から戻り、海軍兵学校教官（浴恩園は海軍省が接収していた）となった。70歳で府立園芸学校の講師、1915年に「明治庭園記」を発表、浴恩園で学んだ設景を学生に指導する。そして、自ら国内外に多数の庭園を設計。また、庭園家として画に資する。昭和7年1932没。



明治十四年冬十二月巻写了事記于末長

